

雪がた

—— 豊科病院だより ——

豊科病院広報誌 第7号
平成19年 8月 1日 発行
発行者 豊科病院広報文化委員会
〒399-8205
長野県安曇野市豊科5777-1
URL <http://shironishi.or.jp/>

豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的な要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。

豊科病院 文化祭開催

今年夏、7月27日から28日の2日間にわたり、当院で文化祭が行われました。今年で2回目の開催となり、病院内の作業療法室で行われ、患者さんや職員など総勢80名近くの方々が来場されました。

この文化祭は患者さんが主体となって、やりがいのある楽しい行事を行おうと、昨年から行われているものです。患者さんが行っている日頃の活動を発表する機会を作り、自己表現を行ったり、他者から受け入れられる経験を経験することが主な目的です。また、この文化祭に取り組むことをきっかけに活動意欲がわいてくるという効果もあります。

全体を大きく分けると展示コーナーと体験コーナー・催しにわけられます。

展示コーナーには、デイケアや作業療法の時間に作った作品や、年間行事の紹介、農作業の様子を撮影した写真や実際に畑で収穫した野菜などが展示されました。どれも力作揃いで、見学に来られた方たちが歓声をあげたり、自分が関わった展示物の前で写真を撮る場面や、作品について患者さんどうし話をしている姿、作品をじっくりと見つめている姿、楽しそうに微笑みながら鑑賞している姿、など普段病棟では想像もつかないような姿が見られ、和やかな雰囲気でした。特に普段はもの静かな方が、職員や友人を文化祭会場へ積極的に誘われている姿が印象的でした。



体験コーナーでは、実際にマグネットやブローチを作り記念に持ち帰っていました。又、これまでに練習してきたハンドベルの演奏とカラオケの様子を撮影してビデオを上映したり、学生によるギターの生演奏も行われました。

中には1日に3〜4回も参加する人もおり、患者さんにとって特別な出来事であったことが伺えます。文化祭が開催されるまでは展覧会のような静かな印象でしたが、実際にはお祭りのように楽しい雰囲気、1日中賑やかでした。また、日頃自分の作品に興味を持たない人や作業に参加しない人も文化祭に参加され、スタッフや患者さんと楽しそうに過ごしている風景が見られました。

バラの日 式典

～永年勤続者表彰～

6月14日(火)に『バラの日』が行われました。『バラの日』とは、城西医療財団の職員の永年勤続者を表彰する催しであり、毎年6月に各事業所で行われています。会場には、職員が育てたバラも沢山展示されます。

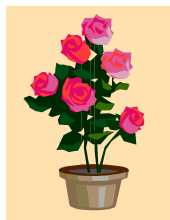
永年勤続者は、5年間勤続された6年目の方に「5年表彰」、10年間勤続された11年目の方に「10年表彰」というように5年毎に区切られており、当日は、表彰を受けられる方々に、表彰状と記念品が贈呈されまし

た。

五味洲院長の挨拶では、『終身雇用を廃止にする企業が増加し、また職員もキャリアを積んで転職する傾向にあるが、一つの会社で長く勤める大切さを改めて考えて欲しい』と、職員を激励。職員も、長く勤めた『慣れ合いの職場』ではなく、長く勤めることによる『より完成度の高い職場』を目指すことを再認識しました。

今年度は、以下の通り20名の職員の方々が表彰されました。

5年表彰・・・5名
10年表彰・・・11名
15年表彰・・・1名
20年表彰・・・2名
25年表彰・・・1名



院内研修会報告

～医療ガス安全管理講習会～

6月20日と27日に岡谷酸素さんを講師に迎えて、「医療ガスの取扱い」についての研修会を行いました。今回の研修では、医療ガスの危険性、取扱い方法はもちろんのこと「病院における事故事例」として最近の長野

県で起きた事故事例が紹介されました。正しい知識がないまま使用し、取り扱いを間違えると重大な事故・災害を招くことを再認識できました。

事故を起こさない為に、正しい知識を持つ、日常の検査及び点検の実施、定期的に取り扱いの訓練を行う。この3つが大切ではないでしょうか。

AED設置のお知らせ

この度、当院の外来と、併設の老人保健施設安曇野メディアに、AEDがそれぞれ一台ずつ設置されました。

AED(自動体外式除細動器)は医療機器ですが、平成16年7月より医療従事者でない一般市民でも使用できるようになり、病院はもとより人が多く集まる公共施設などを中心に設置されるようになりました。

最近では、一般市民の方がAEDを使用して救命した事例も増えてきているそうです。

駅や公共の場で以下のマークを見かけたら、AEDが設置されていることを意味します。当院に限らず、緊急時は地域社会でも勇気をもってAEDを実施しましょう。



安曇野市一斉清掃へ参加

町を美しくする日

安曇野市では、住民・各事業所等自らの手により、町の清掃等の美化運動を行う『安曇野市一斉清掃』が、年2回設けられております。

その1回目の清掃が豊科地域では5月27日（日）に行われました。

当院では業務の都合上、6月1日（金）に清掃活動を実施しました。

今年も多数の職員が参加して病院周辺の草刈りやポイ捨てされた空き缶・空き瓶、ゴミの回収、水路の清掃などを主に行いました。

毎年のことですが、沢山のゴミが回収され、また時間の

関係上、清掃の

出来る範囲は限

られてしまいま

す。ですから、

日頃から自主的

に清掃活動を行

っていくことが



心の癒し(6)

ブラックバスを釣る

事務部 上條 卓

“短期集中型!? ”の性格の私にとって、永く巨つて趣味としているものがあります。それは、ブラックバスを釣り上げること…そう“バスフィッシング”です。

釣りをしたことがない人でも、“ブラックバス”という名前を一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか？

ブラックバスは、一般的にルアー（疑似餌）を使って釣ります。そのルアーには、プラスチックで出来たハードルアーと、ゴムのような物で出来たワーム等があり、中には『こんなもので釣れるの?』と疑問に思われる物もありますが、それらを場所・季節や時間帯・天候など様々な状況によって使い分けています。状況の変化によって、生息場所を頻繁に変えるのもブラックバスの特徴で、手応えがなければ、こちらからブラックバスの居そうな場所を推測し、次々と場所を移動しながらアクティブに釣りを乐しみます。格好良く言うとゲーム性の高いスポーツフィッシングバスはサイズも大きく、釣れた時の手応えは十分です。

しかし、ブラックバスはなかなか賢く、容

易に釣れるものではありません。状況判断やバスの生態を理解した上での行動予測、ルアー選び、正確なロッド（竿）操作などが重要になってきます。始めた頃は何も知らずに、がむしゃらにルアーを投じているだけで全く釣れませんでした。その為、釣りに関する様々な雑誌を読み、釣り仲間から得た知識を頭の中で思い浮かべ、考えながら釣りをするようにになりました。それからはずと釣果も上がってきたように感じます。若干、大きい口を叩きましたが、まだまだ発展途上です…。

ともあれ刻々と変わる状況に合わせて釣れそうな場所であったり、適切なルアー選択、ルアーにアクションをつける為の巧みなロッドワークで、いかにしてブラックバスに生きたエサだ!と思わせて喰わせるか?その難しさこそがバスフィッシングの楽しさや魅力であり、そして最大の醍醐味である!と思います。

周囲の人がなかなか釣れずに自分だけが釣り上げた時の優越感は格別です!大きいバスを釣ればそれだけ自信にもなります。

釣れた時の話を誇らしげにする!モンスターのサイズ(60cm以上)のブラックバスを釣るという夢!これが私の「心の癒し」となっています。





関連施設だより

グループホームケアホーム合同小旅行

平成19年5月15日、グループホーム・ケアホーム「第1 飛鳥荘」「第2 飛鳥荘」のメンバーで、春の日帰りの小旅行へ出かけました。目的地は大町温泉郷の立山プリンスホテル。豪華な全席料理を味わうためです。両施設では、年2回の合同日帰りの旅行が恒例行事となっており、メンバーは月々旅行積み立てを任意でされているので、今回はリッチな日帰りの旅行が実現しました。

豊料を出発後、途中の道の駅松川で山菜の朝市を楽しみ、大町温泉郷入り口にある、アルプス揚子土場へ到着。この土場は最新のコンピュータ管理により、日本酒醸造用の酒造精米を行っている土場で、日本全国に流通している酒造米の8割以上を精米。最新の設備と幅が数メートルという土場の大きさに、メンバーも大驚かされていました。

午前10時に、立山プリンスホテルへ到着。まだひんやりとした山の空気と新緑がメンバーを迎えてくれました。平日の午前中とあって館内は大変静かで、朝食の宴会までは、客室でお茶を飲む人、入浴する人、ロビーでコーヒーを飲む人、と思いついた時間を過ごされていました。

やがて待ちに待った宴会が始まりました。前菜、刺身、すきやき、茶碗蒸し、天婦羅...海の幸山の幸の数々を思う存分味わい、そのあまの量の、参加メンバーも満足された様子。昼食後は、約2時間程の自由時間となり、入浴や客室でのんびり過ごされました。

参加メンバーの平均年齢は68歳。これまでの日帰りの旅行とは違い、このようにゆったりとした時間を過ごす企画は初めてでしたが非常に好評で、きれいな景色の中で贅沢な気分を味わい、日常を離れた初夏の1日となりました。

外来 医師担当表

お問い合わせ 電話 0263-72-8400

曜日	月	火	水	木	金	土
精神科	中澤 知遠 医師	西里 吉昭 医師	五味洸 満徳 医師	五味洸 満徳 医師 or 中澤 知遠 医師	中澤 知遠 医師	五味洸 満徳 医師
内科	信州大学 第一内科 医師	休 診	休 診	信州大学 第一内科 医師	休 診	休 診

◎ 受付時間 午前 8:00～午前 12:00
◎ 診療時間 午前 9:00～終了まで
※ 午後は全科休診となります。
※ 日祝祭日は全科休診となります。
※ 精神科木曜日の担当医は、週ごとに変更となります。

※不明な点は、受付へご確認下さい。

平成19年 8月現在



～ 編集後記 ～

豊科病院広報誌「雪がた」第7号をお届けしました。お読みになっていかがでしたでしょうか？
今年の夏も暑い日が続き、8月16日には岐阜県多治見市と埼玉県熊谷市の2カ所で史上最高気温40.9℃を記録し、全国的にこの夏一番の猛暑となりました。
この異常気象も地球温暖化が原因なのでしょう？
「アイドリングを避ける」「こまめに電気を消す」「買い物袋を持参する」等ライフスタイルを改めるだけで、地球温暖化防止に役立ちます。
この美しい青い地球を守っていききたいですね！！

※表題「雪がた」について 春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。
また、表題の写真は当院屋上から撮影しました。